

四つのテスト 現行はこれに照らしてから 1.真実かどうか 2.みんなに公平か 3.好意と友情を深めるか 4.みんなのためになるかどうか

◆司会 柳龍一郎SAA委員

◆四つのテスト 山田孝二さん

◆ご来訪ロータリアン

## ◆会長挨拶 中西祥之会長



皆さんこんにちは。本日の例会は、2週間ぶりになります。前回の例会の後、いくつかイベントがありましたので、そのご報告をさせていただきます。まずは、9月14日土曜日に、開演50周年を迎えたグラバー園にてグラバー顕彰式が行われました。これは、1859年に長崎を訪れ日本の近代化に大きく貢献したトーマス・グラバーらの功績を讃える式典で、当日は鈴木市長を始め約60人が参加されました。約40分の式典で、市長らの挨拶、献花のほか子ども達による合唱などが行われました。建物内ではなく外で行われましたので、テントはあったのですが、ものすごい暑さで、とても大変でした。次に、9月18日水曜日には、マリア園での毛布クリーニング奉仕活動が行われました。私は仕事の都合で、朝の搬出しか参加できず申し訳ございませんでした。久田さんがテレビ報道を送ってくださり、それを家族に見せたのですが、妻から、「とても良い取り組みだね。良い仕事したね。」と珍しく褒められました。参加された皆様、大変お疲れさまでした。そして、9月21日土曜日には、大村市中央公民館にて、クラブ活性化セミナーが行われ、会長エレクトの尾本さんと2人で出席してまいりました。セミナーでは、高崎ロータリークラブの田中久夫さんが「クラブ活性化のために」というタイトルで、熊本城東ロータリークラブの永田壮一さんが「行動計画の実践と課題」というタイトルでご講演されました。特に興味深かったのは、田中さんの講演の中で、チャットGPTに「ロータリーはどうやったら会員増強できますか?」と尋ねたときの回答です。チャットGPTは、以下の4つを回答したそうです。①地元コミュニティでの露出を増やすこと、②ネットワークを広げること(友人・知人・同僚などにロータリーについて語りかけること)、③プロジェクトに参加する機会を提供すること(ロータリーの活動に参加することでロータリーに

興味をもっている人々を誘引する)、④若者に届けること(若い世代にロータリーの存在を知ってもらいロータリーは社会貢献やリーダーシップの経験を積むことができることをアピールする)。要するに、色々な人にロータリーの活動をアピールして興味を持ってもらうことが大事なのだと理解しました。今年度、一人でも多く新しい会員が入会されるように皆様と一緒に頑張っていきたいと思います。

### ◆幹事報告 久田松春樹幹事

①例会変更並びに休会のお知らせ変更  
変更 長崎みなとRC 10/29(火)夜例会の為 翠獅庭  
休会 長崎南RC 10/2、10/9(水) 長崎みなとRC 10/8(火)  
定款第7条第1節により休会

### ◆結婚・誕生・入会祝い 9/22~9/28

【誕生祝】馬場政徳さん



## 創立40周年実行委員会報告 久田松春樹40周年実行委員会事務局長

9/10実行委員会各部会進捗状況報告  
○記念式典部会 ①式次第の確認→物故者の紹介は、この10年間で在席中(現職)にお亡くなりになられた方のみ退会後の物故者は、創立以来の物故者としてひとくりにまとめて表現し黙とうする ②記念事業贈呈→3団体への寄贈品を写真で投影させ周知する ③会員集合時間→15時30分→記念誌用の顔写真撮影を10/11に実施する ④メールボックスにプログラムを配付 ⑤ご夫人の登録料は無料。現在5名のご出席 ○記念事業部会 ①写真撮影→記念例会と式典祝賀会、集合写真は西クラブと藤沢南のみ

### ◆ニコニコ箱

■中西祥之さん 福田先生、本日はお忙しい中お越し下さり、ありがとうございます。  
■山田孝二さん 福田先生、卓話宜しくお願い致します。  
■三宅敏彦さん ①18日のマリア園の奉仕活動に参加の皆さん、御苦労さんでした。他クラブの友人からも電話がありました。②大谷 50-50 おめでとうー!! 55-55も有りかも?

◆期首会員数	35名	◆入会者	0名	◆退会者	0名	◆現在	35名
◆9/24例会出席	19名	◆免除者出席	8名	◆欠席	16名	◆出席率	57.58%

卓話

学校法人海星学園 海星中学高等学校  
 インターアクトクラブ顧問 福田 宏樹さん  
 「海星高校インターアクト部の活動報告」



◆マリア園毛布クリーニング奉仕



◆奉仕プロジェクト 柳龍一郎担当理事  
 社会奉仕委員会の岩田委員長に代わりご  
 報告します。9/18(木)継続事業であるマ  
 リア園毛布クリーニング奉仕を行いました。  
 9時からの搬出作業、16時からの搬入作  
 業にご参加の皆様、大変お疲れ様でした。  
 また、NCCのニュースでも放送されました。



◆ハイライトよねやま 294号

モンゴルの米山学友 2 人が国会議員に

モンゴル出身の米山学友、ジャンチブ ガルバドラツハさん(1998-99/山形北RC)、ガンゾリグ ロブサンジャムツさん(2009-11/小田原城北RC)が、7月の選挙で見事当選を果たし、モンゴル国国会議員となりました。今回は、お二人に抱負や思いをお伺いしました。

【ジャンチブさん】 国の基礎・根幹は「教育」です。この3年間、モンゴル国内の公立学校のうち60校に対して「学校経営改善プロジェクト」を実施してきましたが、さらに120校を追加し、規模を拡大していきます。深刻な教員不足にも大きな改革が必要です。「今の私がいるのは日本留学のおかげ」、と常に発信してきましたが、今後は国家レベルでモンゴルと日本の関係をさらに深めたいです。今回当選した議員の中に10人以上の日本留学経験者があり、うち2人は大臣になっています。私もガンゾリグさんと共にモンゴル日本友好議員連盟に入ったので、いつかは会長になりたい、と思っています。奨学生時代、世話クラブの方々に対して、「恩返ししたい、そのために自分の夢を実現し、国を背負っていく人材を育成したい」と約束していました。ですので、現役奨学生・学友の皆さん、私と共に「夢を語りましょう。そして叶えましょう」。お互いに頑張りましょう。【ガンゾリグさん】ウランバートル市の課題である大気汚染、交通渋滞の解決に向き合うと同時に、市民参加型のまちづくりを目指していきたいです。私自身、都市開発のエキスパートとして、日本企業で培ってきた経験は必ず活かせると思っています。また、日本ともインフラなどの分野で協働していきたいです。私を含め、若い議員が増えたことで各省庁が活発になっており、これからさまざまな改革・改善ができれば、と期待しています。奨学生時代を振り返ると、一番忘れられないのは米山奨学金に合格したときでした。私の志、能力をしっかりと見抜いていただいたことにととても感謝していますし、世話クラブの方々とも素敵な時間を過ごすことができました。米山奨学生・学友の皆さんにはぜひ、広い視野を持ち、母国や世界に目を向けてほしいと思います。そして、日本、モンゴルも同様ですが、可能性にあふれた若い人たちにチャンスを与える社会になってほしいです。



ニコニコ箱	目標 1,200,000円	9/24	10,000円	累計	247,000円
ロータリー財団寄付	目標 1人150ドル/年間	9/24	3,000円	累計	58,000円
米山記念奨学寄付	目標 1人16,000円/年間	9/24	3,000円	累計	46,000円

◆会長 中西祥之 幹事 久田松春樹 ◆創立：昭和 59 年 10 月 2 日 ◆事務局住所：長崎市東古川町 4 - 16 フジビル 202  
 ◆事務局連絡先：Tel:095-828-1091 Fax:095-824-5520 ◆e-mail:nwrc2740@ngs2.cncm.ne.jp  
 ◆例会：【火】12時30分～13時30分 ◆例会場：ホテルニュー長崎 Tel:095-826-8000  
 ◆作成：公共イメージプロジェクト委員会/クラブ会報委員会 ◆委員長：野崎地平 ◆編集：事務局 中田久美子